

eYACHO for Business 4

バージョン移行ガイド

(eYACHO for BusinessVer.3 からの移行手順)

第 2 版

- iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
- その他記載された会社名、製品名等は、各社の登録商標もしくは商標、または弊社の商標です。
- 本書は株式会社 MetaMoJi が作成したものであり、マニュアルの著作権は、株式会社 MetaMoJi に帰属します。
- 本書の内容は予告なく変更することがあります。

2018 年 3 月 10 日 ©2018 株式会社 MetaMoJi

はじめに

本書では、管理者向けに、eYACHO for Business Ver.3 から新バージョンの eYACHO for Business 4 へ移行する手順を説明しています。

eYACHO for Business の概要や導入・運用の方法については、管理者ガイドをご覧ください。

表記

名称	表記
eYACHO for Business 4	新バージョンのクライアントアプリケーション
eYACHO for Business Ver.3	eYACHO 3
eYACHO for Business	旧バージョンのクライアントアプリケーション
eYACHO 管理ツール	管理ツール

参照先の表記

関連する機能や詳細について説明している項目を「→」に続けて紹介しています。

[表記例]

- 本書内の項目の紹介
→ 2.1 新バージョンへの切り替え - 注意

画面

クライアントアプリケーションの画面やアイコンは、iOS 版の eYACHO for Business のものを使用しています。

目次

1	概要	4
1.1	データの移行	4
1.2	クライアントアプリケーションのバージョン	5
2	バージョンの切り替えとデータの移行	6
2.1	eYACHO 3 からログアウトする.....	7
2.2	新バージョンへの切り替え	8
2.3	クライアントアプリケーションの導入.....	9
2.4	eYACHO 3 の削除	10
3	Ver.2 から新バージョンに移行する.....	11

1 概要

新バージョンのクライアントアプリケーションは、eYACHO 3 のクライアントアプリケーションとは別のアプリケーションです。このため、自動でアップデートされません。

新バージョンに移行するには、本書に記載の手順でクライアントアプリケーションを導入したり、データを移行したりする必要があります。

1.1 データの移行

データの移行は、MetaMoji クラウドを介して行います。

移行可能なデータ

MetaMoji クラウドに保管されている次のデータは、クライアントアプリケーションで同期をとることにより、移行できます。

- 個人ドライブ・共有ドライブ
 - 各ドライブのノート・タグ・フォルダ
- ※ ゴミ箱のノートも移行されます。
- クライアントアプリケーションの設定
 - mazec の学習・登録データや設定

移行のタイミング

新バージョンのクライアントアプリケーションで最初にログインしたときに移行が行われます。

※ ユーザーが複数のデバイスを使用している場合も、最初のログイン時に移行が行われます。

1.2 クライアントアプリケーションのバージョン

基本的に1つの法人 ID 内では、すべて同じバージョンのクライアントアプリケーションを使用します。新バージョンのクライアントアプリケーションの使用を開始するには、管理者が管理ツールでバージョンの移行を行う必要があります。

管理者の移行後、新バージョンのクライアントアプリケーションの導入については、移行したい人から導入することは可能です。

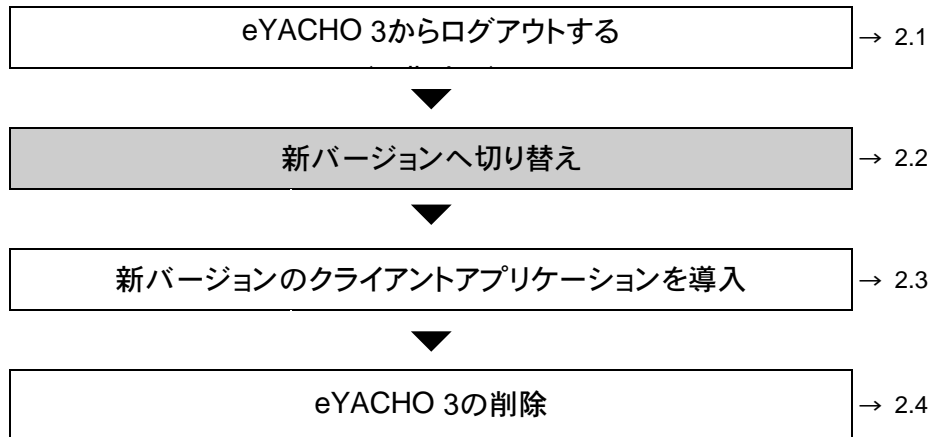
ただし、例えば新バージョンのクライアントアプリケーションを導入した人が、チームドライブのノートを開いた後では、eYACHO 3 では開くことはできません。

eYACHO 3 で同期をとっても、移行後のデータにアクセスすることはできません。

2 バージョンの切り替えとデータの移行

すべてのユーザーが準備作業を完了してから、バージョンの移行を行います。


ユーザーの作業 管理者の作業



2.1 eYACHO 3 からログアウトする

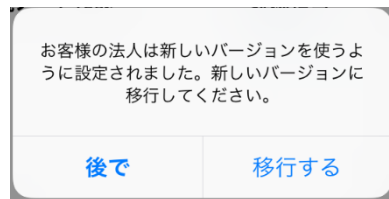
作業者：ユーザー

新バージョンにデータを移行する準備として、eYACHO 3 にログインしている場合は、データの同期を行うためにログアウトします。

1. ノート一覧画面右上の  > 「ログアウト」をタップします。
eYACHO 3 からログアウトします。

注意：eYACHO 3 を起動して、新バージョンへ移行のメッセージが表示された場合

サーバーのバージョンが新バージョンに切り替わっています。



「移行する」をタップし、新バージョンへの移行を行ってください。

2.2 新バージョンへの切り替え

作業者：管理者

管理ツールで新バージョンへの切り替えを行います。

※ サーバーでバージョンの切り替え処理を行います。手順 5.のあと、通常、数秒から 1 分程度で終わります。

注意：切り替え後は、新バージョンのクライアントアプリケーションを使用します

ただし、移行していないデータが残っている場合は、eYACHO 3 を起動すると、新バージョンへ移行するかの確認メッセージが表示されます。

Ver.2 から新バージョンへ切り替える場合

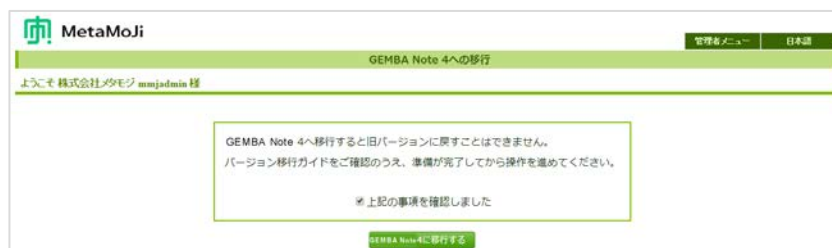
「3 Ver.2 から新バージョンに移行する」を参照してください。

1. Web ブラウザで次の URL へアクセスします。

クラウド版

<https://mps101.metamoji.com/mmjeditor2/usradm/ja/verupEYACHO4.html>

2. ログイン画面が表示されたときは、管理ツールへのログインと同じ要領でログインします。
3. 画面に表示される内容を確認し、[上記の事項を確認しました]をオンにします。



4. [eYACHO4 に移行する]を選択します。
5. 移行を確認するメッセージが表示されるので、[OK]を選択します。

以降は、新バージョンのクライアントアプリケーションを使用します。

2.3 クライアントアプリケーションの導入

作業者：ユーザー

新バージョンのクライアントアプリケーションを導入します。

導入後は、新バージョンのクライアントアプリケーションにログインすると、eYACHO 3 のデータがそのまま利用できます。

1. 新バージョンのクライアントアプリケーションを App Store からダウンロードし、インストールします。
2. インストールした新バージョンのクライアントアプリケーションにログインします。
eYACHO 3 と同じ法人 ID・ユーザーID・パスワードでログインします。

ログインや暗証番号の設定が終わると、eYACHO 3 でアップロードしたデータが、新バージョンで使用できるようになります。

以上で、eYACHO 3 からのデータの移行は完了です。

注意： データの移行が正しく行われなときは、もう一度 eYACHO 3 にログインし、ログアウトをします。

2.4 eYACHO 3 の削除

作業者：ユーザー

データの移行が完了したら、eYACHO 3 を削除します。

注意： eYACHO 3 を削除すると、MetaMoJi クラウドにアップロードされていないデータが削除されます。

クライアントアプリケーションを削除する前に、データの移行が完了したことを確認してください。

新しい eYACHO for Business でアップロードしたノートは、旧バージョンで開くことはできません。

iOS の場合

1. eYACHO 3 のアイコンを長押しします。
2. アイコンが波打ち始めたら eYACHO 3 の x ボタンをタップして削除します。
3. 削除が完了したら、ホームボタンを押します。

3 Ver.2 から新バージョンに移行する

作業者：管理者

eYACHO for BusinessVer.2 から新バージョンのクライアントアプリケーションに移行するには、eYACHO for BusinessVer.2 から eYACHO for BusinessVer.3 に切り替えてから、新バージョンに切り替える必要があります。

●Ver.2 から Ver.3 に切り替える

サーバーでバージョンの切り替え処理を行います。

1. Web ブラウザで次の URL へアクセスします。

<https://mps101.metamoji.com/mmjeditor2/usradm/ja/verupEYACHO3.html>

管理ツールへのログインと同じ要領でログインし、

[上記の事項を確認しました] をオンにし、 [Ver.3 へ移行する] を選択します。

●Ver3 から新バージョンに切り替える

サーバーでバージョンの切り替え処理を行います。

2. Web ブラウザで次の URL へアクセスします。

<https://mps101.metamoji.com/mmjeditor2/usradm/ja/verupEYACHO4.html>

管理ツールへのログインと同じ要領でログインし、

[上記の事項を確認しました] をオンにし、 [eYACHO 4 へ移行する] を選択します。

以降は、新バージョンのクライアントアプリケーションを使用します。